

社団法人私立大学情報教育協会

平成 21 年度第 1 回 CCC 政治学グループ運営委員会議事概要

I. 日 時： 平成 21 年 5 月 7 日(木)午後 4 時～6 時

II. 場 所： 私情協事務局会議室

III. 出席者： 萩原委員、吉岡委員

事務局： 井端事務局長、山野上

IV. 検討事項

1. 政治学に求められる学士課程教育について

委員より提案のあった学士力案を参考に、意見交換を行ったところ次のような意見があった。

(学士力の方向性について)

- ・ 法律学分野であれば大学を卒業して何ができるようになるのかということを示しやすいが、政治学は職業教育として側面が少ないため、成果を提示するのは難しいのではないか。
- ・ 私情協の法律学の学士力の目標としては、社会人としての最低限度身に付けるべき能力を提示することとしている。普段の生活の中で発生している法に関わる事柄が理解できるというレベルにとどめ、たとえば、会社員となったときに、契約問題を適切に判断できるか、というような最低限度の理解、活用能力としている。

(理論・概念、知識について)

- ・ 基本概念として、権力や正当性が挙げられる。理論としては民主主義のあらましなどが挙げられる。基本概念を最初に学習した後に基本的な内容に入ることが望ましい。
- ・ 有権者としてのリテラシーを入れるかどうかは検討を要する。知識として教えるということまで到達度は示しやすいが、政治学として最低限身に付ける範囲として制度論は補助的でよいのではないか。選挙統計や民主主義理論などはあくまで技術であり、それは個々の目的により異なる問題である。有権者リテラシー、制度論については、人の話を聞く力、ものの見方、アプローチの仕方等を挙げれば多くはそれでカバーできるのではないか。
- ・ 日本の政治制度と他国の政治制度を最低限度の知識として覚える必要はないのではないか。
- ・ これまでの議論ではポリティカルサイエンスも踏まえることとしていた。ポリティカルサイエンスで代表的なものは選挙学であろう。政治過程、制度について基本的な知識を持ち比較的な視点からの見方ができるということに言及してはどうか。また、必要であればポリティカルサイエンスの専門家を委員に招いてはどうか。
- ・ 政治学で取り扱う分野には、政治思想史、現代政治、選挙、政治過程論などあり、それからさらには行政学に進んでいく。

(スキル・態度等について)

- ・ 法学と異なり実学的ではないが、選挙を統計的に処理できる、議会の仕組みを知っている等、知識やスキルの到達度を示すことはできる。
- ・ 政治の領域でないところに政治的な意味を見出すのが政治学の本領といえる。「政治的解決」を行わないことが政治学のあり様である。
- ・ 政治学では公共的視点を持つための他者性と複数性の理解が重要である。

以上の議論をもとに、現段階での政治学学士力案を次の6項目とした。

1. 権力、正統性、国家（政治共同体）などの政治学の基本概念を理解できる。
2. 政治社会の制度的仕組みを動的・比較的な視点から理解できる。
3. 政治制度と人間行動の関係について一定の認識を得ることができる。
4. 人間の集合的決定と共同での秩序形成・維持を可能ならしめる様々な仕組みについての基本的理解ができる。
5. 現代の政治社会の諸問題を複眼的に捉え、どのような問題があるのかを発見し、その問題を改善していこうとする態度を身につける。
6. 価値の多様性を理解しつつ、異なる価値観同士の共生の方途を探る態度を身につける。

2. コアカリキュラムのイメージ、評価測定方法について

前項であげられた学士力を実現するために必要な、コアカリキュラムのイメージ、評価測定方法について意見交換を行った。

- ・ 上記学士力を通してシラバスのイメージを作成することができるのではないかな。
- ・ 測定方法について、水準をどの程度にするのが問題となる。たとえば第2,第3項目はレベルが高く、行政学の視点からは、理解できていないと単位は出せない。一方、第6項目は非常に基本的なもので中学生でも理解できるレベルではないかな。
- ・ ヨーロッパでは 他国との大学、大学院と協定を結んで、共通の単位を出せるかどうか取り組んでいるが、私情協では学士力を全大学で統一しようとは思っていない。道標として各大学で参考にして欲しい。中教審は各大学で競争して欲しいとしているし、そのために、大学連携、社会との連携、大学団体の活用を謳っている。
- ・ 具体的に評価方法を規定しようとすると、各教員がどこまで目標を設定しているかという問題になり難しい面がある。

3. 今後の進め方について

- ・ それぞれ学士力について、今回欠席の委員も含めて改めて精査を行い、さらに、各項目について詳細内容の検討を行うこととする。
- ・ 次回は、コアカリのイメージとなるような範囲についてのメモを持参することとする。